

本の〈読み方〉と〈使い方〉

廣田 照幸

小学校の国語の試験で「本を――1読む、2使う」という問題が出されたら、1が正答で2は誤答ということになるだろう。しかし、「本を使う」ことは決して少なくないし、「使うため」に出版されている本も山ほどある。僕がそのことによろしく気がついたのは、大学に入学してかなりたってから――いや、大学を卒業するまでうかつにも気がつかなかったというほうが正しい。卒論は、社会学の諸大家が書いた本を「読んで」、まるで自分がその大家になったかのように大言壮語するもので、今考えると赤面ものだった。

大学院に進学した年の夏、あるテーマで歴史研究をしようと考えた僕はそのテーマに関連しそうなタイトルの本や論文を本屋で買ったり、図書館で借りたりしては「読んで」いた。そのうち、「自分で実態を把握しよう」と考えるようになった時、別種の本の利用法が始まった。まず、国会図書館へ行って戦前期の統計書の各年度版を大量に複写して、自分で電卓を叩いて表を作ってみることを始めた。東大にある明治大正新聞雑誌文庫にまるまる1週間通って、『偕行社記事』という戦前の雑誌を明治30年頃から昭和初年までページをめくって、自分の問題に必要なと思われる箇所をコピーし、カードに写した。大学図書館の書庫の中をうろつき回って、雑誌の復刻版やら古びた戦前期の本やらを「データ」として借り出した。

そういう作業を続けるうち、「本というのは著者の主張であれ、事実の記録であれ、結局は情報を保存し伝達するものなのだ。」という単純な事実気づいた。「本は『読むもの』である」

というのは、そうした本の性格のある一面を表しているにすぎない。著者の感動や主張を筋を追って読んで理解し、それに対して意見や感想を持つという本の利用法――小学生以来続けてきた「本の読み方」――のほかに、膨大に所蔵されている資料集や本の中から事実や裏付けを発掘して、そこから自分の考察を組み立てるという本の利用法――「本の使い方」――もあるのである。

図書館の書庫に誰が読むでもなく膨大に収蔵されている、面白味の少ない本や雑誌・資料の類いが、自分で物を考えたり何かを明らかにしたりする時にかけがえのない情報源であることがやっとわかったわけである。本は「読んで著者の主張を知るためのもの」という、小学校の読書感想文コンクール以来の「本」観は、知識を得るためには役立つが、「大事なことはきっと誰かが言っている」という受動性をも同時に植え付けていたような気がする。

僕のゼミ生に「他人が言っていることを短くまとめて適当につなぎあわせて卒論書いても他人の禱で相撲をとっているようなもので、つまないだろ。」とくさしたりするのは、書庫の古びた本や資料の山の中から自分自身の手で事実や主張を組み立てるというエキサイティングな経験を、せめて一度は経験して欲しいと願うからである。とはいえ、そんなことを要求している自分自身が大学院に入るまで「本の使い方」を知らなかったわけだから、無理な高望みというべきかもしれないが。

(Teruyuki HIROTA : 文学部教育学科講師)

キリシタン史跡：栄国寺

青山 玄

名古屋市中区橋1丁目の栄国寺の北西200m程の所には、昔から日置神社があるが、1534年(天文3年)5月頃に、今は東本願寺名古屋別院となっている古渡城で生まれたと思われる織田信長は、1560年桶狭間の合戦の前、この神社で「もし運よく今川義元を討つことができるなら、ここに松千本を寄進しましょう」と願をかけて戦勝を祈ったと伝えられる。幸い勝利を収めたので、信長はここに松千本を植えたが、それ以来この地は、十七世紀後半まで「千本松原」と呼ばれ、今でも近くに松原町という地名が残っている。その松が大きく成長した50年後の1610年頃、ここに尾張藩最初の処刑場が設けられた。

1631年尾張藩の北部諸村で検挙されたキリシタンの中9名がここで処刑され、1644、5年に名古屋で検挙されたキリシタン約20名も、江戸送りになった3名を除いては、皆この地で処刑されている。社会的犯罪なしに、ただ幕府の命令によって殺されたこれらの人々の霊を弔うためか、1649年(慶安2年)町岡新兵衛という人が、この刑場に高さ2m余りの立派な石碑を建立した。表に「南無阿弥陀仏三界万霊等」と刻んだ供養塔で、「切支丹塚」と書かれた石碑の側の小径を10m程奥に入った所に、今もひっそりと建っている。

その側には、明治11年に死去した女兒のキリシタン教的墓碑があるが、これは正教会(当時はロシア正教またはニコライ教と呼ばれていた)信者のものであると思われる。名古屋には元水戸藩の漢学者で正教信者になった影田という人が明治10年頃に伝道し、多くの人がその話を

来聴したと伝えられているので、この時に入信した鈴木という人が、自分の子をここにキリスト教式に葬らせてもらったのであろう。当時はまだキリシタン迫害時代の規則が守られていて、維新政府から認められた外人墓地の他にはキリスト教式の埋葬が許されていなかったが、栄国寺の住職はキリスト者に大きな理解を持っていたのであろう。

1661年4月(寛文元年3月)以来、尾張藩北部の農民の間からキリシタンが続々と検挙され、その数2千名以上にも達した時、尾張藩は幕府からの強い圧力に押されて、1665年2月3日(寛文4年12月19日)、まずその中の男女200名余りをこの地で斬罪に処した。この数は、幕末の1830年に書かれた『詞曹雜識』によると、207名となっている。他の文書記述を考え合わせると、恐らく皆信仰が堅く、人に信仰を勧めたり洗礼を授けたりしたことのあるキリシタンたちであったと思われる。刑吏は10人処刑する毎に柵の木に槍をかけて交替したので、その木は後で「槍掛けの柵」と呼ばれたという。この時に使われた処刑用の槍と槍掛けの柵については、それから百年程後の18世紀後半に吉田正直の書いた『尾張葉栗見聞集』に、図入りで説明してある。槍は栄国寺に保管してあったが、太平洋戦争中に供出させられ、行方不明になった。柵は、庭木用の小さな柵ではなく、大木にもなる柵南天だったようで、今も前述の供養塔の側にその子孫と思われる大木がある。

罪なきキリシタン農民多数の処刑後、二代藩主徳川光友は、処刑場を名鉄名古屋本線の「新川橋」駅の近くにあった土器野へ移し、ここに

は処刑された人々を弔うため清涼庵という寺を建立して、丹羽郡塔之地（名鉄「富岡」駅の近く、今は店舗のある辺り）にあった高さ6尺の薬師寺本尊を安置した。この阿弥陀仏は鎌倉時代の作で、以前から「火伏せ不思議の弥陀」と言われており、そのためか、塔之地の跡地と栄国寺付近はその後今日に至るまで不思議に火事を免れ、名古屋空襲の時にも類焼していない。

清涼庵は後で栄国寺と改称し、浄土宗になったが、聞く所によると、その維持は尾張藩主自

ら年300両で明治に入るまで続け、何よりもキリシタンの鎮魂のために祈らせたので、寺には檀家も墓地も過去帳もなく、キリシタンの宗旨調べにも加担しなかったという。

1969年6月、この寺に切支丹遺跡博物館が開設され、更に1972年、火伏せ不思議の弥陀に因んで、昔の消防道具などのコレクションも追加展示されている。

（Gen AOYAMA : 文学部神学科教授）

《伝言板コーナー》

『全館禁煙』のお知らせ

ブラウジングコーナーでのお知らせの通り、1月7日（月）よりブラウジングコーナーでの喫煙ができなくなりました。これからは、灰皿の設置してある出入口ゲートの外側のみでの喫煙が可能です。皆さまのご協力をお願いいたします。

館報新タイトルは

『ΔTNAMIS』(デュナミス)に決定!!

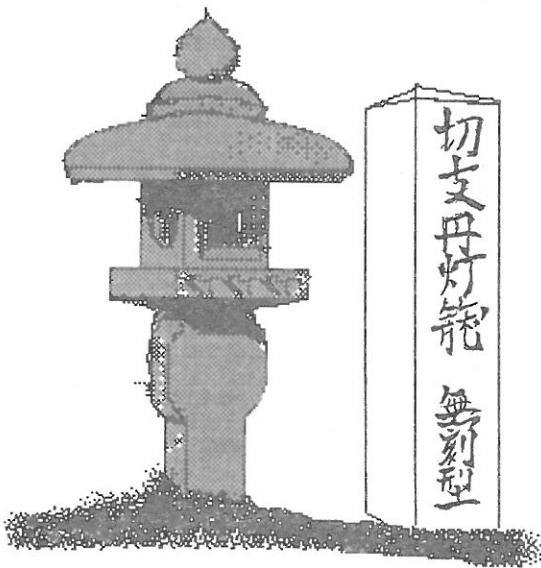
館報No. 6でお知らせした通り、図書館報に替わる新しいタイトルを募集してまいりましたが、10月末の締切りまでに43件の新タイトル案が寄せられました。

図書館職員全員の投票の結果、最高得票だった『ΔTNAMIS』(デュナミス)が新タイトルに決定されました。この言葉はギリシャ語で「力」・「可能性」を表わしており、これが語呂の良さと合わさって高い支持を得たようです。これからも新館報『ΔTNAMIS』(デュナミス)をよろしく願います。

なお、当選案は図書館整理系の関谷治代子さんによるものです。

《文庫訪問》

切支丹遺蹟博物館



切支丹遺蹟博物館？ 栄国寺？

長年名古屋に住み、長年キリスト教それもカトリックの大学に勤務していたながら、このようなお寺があるとは全く知らなかった。そもそも、今回の文庫訪問の取材場所が切支丹遺蹟博物館と聞いた時、<知らない・・・行ったことがない・・・どんな所か見てみたい>という思いにかられレポーターに応募したのであった。

今回は車で行ったが、公共交通機関を使うと地下鉄の東別院駅から、迷っても徒歩10分位で行ける。確かに東別院のそばだけあって、寺が散在するのはうなずけるのだが、周囲を住宅や雑居ビルに囲まれて、こんな所にこんなお寺がと思うくらいせせこましい場所に、目的の「清涼山栄国寺」は存在していた。

地所内に幼稚園があるため元気の良い子供達の声の間近に聞きながら山門をくぐると思いがけず立派なお寺の姿が見られた。「へえ・・・！」 意外である。これはなかなかと思いつつ、「切支丹遺蹟博物館」の標札がかかった入口の前でインターホンを押し来意を告げると見るからに温厚そうな住職さんが出ていらして応接間に案内された。そこで約1時間ほどこのお寺の由緒沿革、切支丹遺蹟博物館の設立についてのお話を伺った。

それによれば、この付近は昔、千本松原と称する刑場の跡で、寛文2年（1664）には切支丹教徒200余人を刑した跡という。そこで、寛文5年（1665）2代藩主徳川光友公が弑死者、病死者の菩提を弔うため「清涼庵」を建立、可信上人を開山とした。そして、公命により犬山塔ノ地、薬師寺の本尊、丈六の座仏を移し草堂を建て、21年後の貞享2年（1685）「藤田寺」とし、後、寺号を改めて「清涼山栄国寺」という。西山浄土宗の寺である。

本堂のわきに小さいながらも貴重な切支丹関係の歴史資料が展示されている博物館がある。昭和44年（1969）4月15日、切支丹ゆかりの栄国寺に古美術収集家佐藤銈一氏のコレクション100余点が寄贈され、それを基に設立されたものである。しんちゅうの踏絵、制札、聖碑、マリア観音、聖人のマントをはおった仏像、十字架の形を秘めた鍵、かんざし、燭台等。切支丹の歴史の研究をする者にとって貴重な資料があり、県外の遠隔地からも来訪者は多いという。

因に、本学神学科の青山玄先生も何度か訪れているとのことだった。

併せて、南蛮関係や江戸火消関係の文化資料も展示されている。

さて、この本堂は戦災を免れ350年の風雪に耐えてきたにもかかわらず、四方の大丸柱、檜の天井、梁の細工等、建築学的にも目を見張る箇所が多い。また、本尊は先の歴史にも記したとおり名古屋三大仏の1つ「火伏の弥陀」として名高い丈六阿弥陀如来木座像（鎌倉時代仏師春日作）。誠に大きく立派である。戦災を免れたのもその加護との住職の説明があった。他にも、体内に五臓を宿した阿弥陀仏や、円空の奉納した観音像、仏足石等見るべきものがある。

住職さんにお礼を述べて暇を告げ、外に出ると庭には、無刻型キリシタン灯籠が草木に囲まれてひっそりとたたずみ、また境内の一角には、悲惨な歴史を物語る切支丹塚（千人塚）、その上珍しいことに塚の傍にはクリスチャンの牧師さん及び子供が葬られているという墓もあった。

さてさて名古屋市内にこんな珍しい博物館を持つ立派なお寺があるなどは正直言って驚きであった。灯台下暗し。わざわざ京都、鎌倉まで行かなくても、地元ですばらしい文化遺産が密かに息づいている。見落としてしまうにはあまりに惜しい。

抜けるような秋の青空の下、行楽気分でお寺を見に出かけ、殉教の歴史に触れ、なかなか良い勉強をしたなと思いつつ、しみじみとした感動を胸に帰る。そんな想いに浸れるお寺と博物館でした。

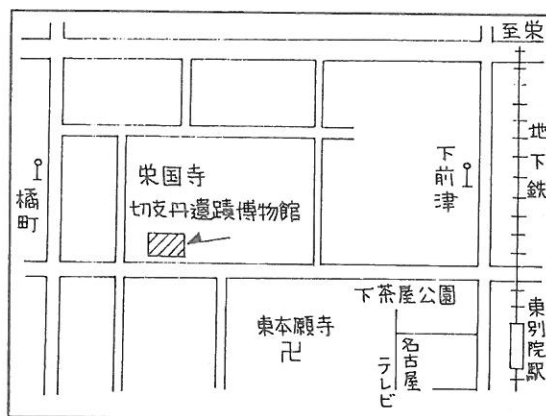
みなさんも是非行ってみてください。

開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
 12月29日～1月3日

観覧	個人	団体 (20名以上)
大人	50円	30円
高校生	30円	20円
小・中学生	20円	10円

展示 切支丹・南蛮・江戸火消関係資料
 交通機関 地下鉄 東別院駅4番出口
 徒歩5分

切支丹遺蹟博物館 (052) 321-5307
 460 名古屋市中区橋1-21-38



(参考係・近藤幹夫、整理係・関谷治代子)

《GEMMA便利帳》

「好みのタイプのリストを作る」の巻

GEMMAのリスト表示はどんな順番で並んでいるか知っていますか。実を申せばこれは、タイトルのアルファベット順に並んでいるのです。でもこれだけで満足ですか。「やっぱ最新が見たいよ」とか思いませんか？それを可能にしてくれるのが『SORT』コマンドです。

それでは、実際にタイトル順のリストを出版年順に並べかえてみましょう。

図1に検索結果が出ています。ここでPF2を押してしまうと元の木阿弥、押したい気持ちをグッとこらえなければなりません。では「==>」の位置に「. . SORT YEAR D」と入力し、実行して下さい。するとメッセージが出ます(図2)ので、迷わず実行して下さい。出版年の新しいもの順に並びかわりました。(図3)

出版年(YEAR)の他に、分類番号(CLS)順に並びかえることもできます。その時はYEARの替わりに「CLS」を使います。また検索式の最後についている「D」は降順を示します。昇順に並べるのが好きな人は「A」を使って下さい。

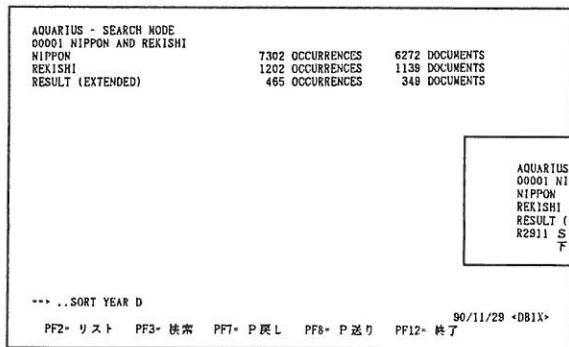


図1

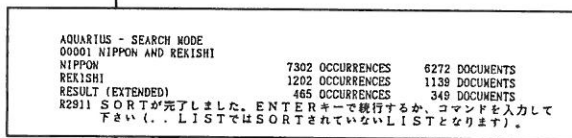


図2

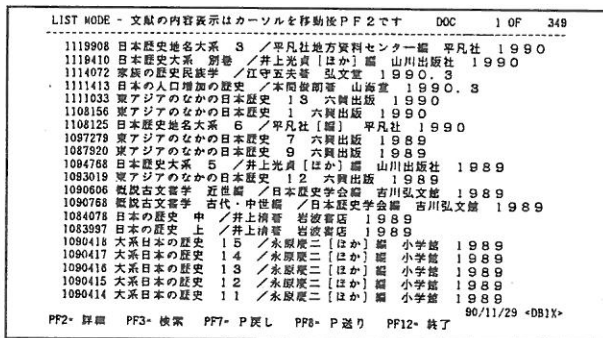


図3

GEMMAデータベース現況

1991.1.7現在

(単位: 書誌レコード数)

種別	図書		雑誌	
	洋図書	和図書	洋雑誌	和雑誌
内訳	54,576	58,101	4,703	6,171
合計	112,677		10,874	

(システム係・三谷靖司)

《外部データベース紹介》

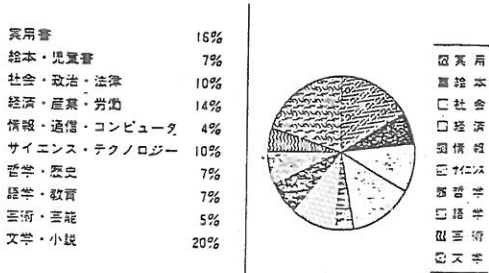
NICHIGAI ASSIST

日外アソシエーツ(株)が情報提供している「NICHIGAI ASSIST」には、次の5つのデータベース(以下DB)があります。

- 「WHO」.....人物・人材情報
- 「BOOK」.....図書内容情報
- 「MAGAZINE」.....雑誌記事情報
- 「MANAGEMENT」.....経営ビジネス情報
- 「PRIZE」.....賞・受賞者情報
- 「BOOK/MONTHLY」...月刊図書内容情報

今回はその中の「BOOK」というDBを紹介しましょう。

「BOOK」は国内で出版されている取次店経由の一般流通本のほぼ100%、及びそれ以外のルートを通る非流通本も収録し、1986年以降国内で発行された新刊本(学習参考書とコミックを除く)のほぼ99%が収録されており、1990年12月現在で収録件数は約16万にのぼっています。そしてそのデータ分野別内訳は下図のようになっています。



「BOOK」の特徴は、書名や著者名などのデータのうち、わかる部分のキーワードだけでそれに該当するデータが検索できるのはむろん、「~について解説している本」「~の分野の本」といった検索の仕方でもできます。また、書名や著者名

などを知らなくても、フリーワード(思い付いた言葉)からも検索できるDBなのでとても便利です。

さらに、検索して引き出される情報は、書名、著者名、出版者名は勿論のこと、定価、その本の要旨、内容目次といったものも掲載しているので、検索した情報からどんな本なのか内容を知ることができるわけです。

では、実際に「BOOK」を使って検索した例をお見せしましょう。

UFOに関する本を検索すると・・・

```

# NICHIGAI-ASSIST# BOOK 90.11.26
1 15
2 3
3 1
4 1
5 1
6 1
7 1
8 1
9 1
10 1
11 1
12 1
13 1
14 1
15 1
16 1
17 1
18 1
19 1
20 1
21 1
22 1
23 1
24 1
25 1
26 1
27 1
28 1
29 1
30 1
31 1
32 1
33 1
34 1
35 1
36 1
37 1
38 1
39 1
40 1
41 1
42 1
43 1
44 1
45 1
46 1
47 1
48 1
49 1
50 1
51 1
52 1
53 1
54 1
55 1
56 1
57 1
58 1
59 1
60 1
61 1
62 1
63 1
64 1
65 1
66 1
67 1
68 1
69 1
70 1
71 1
72 1
73 1
74 1
75 1
76 1
77 1
78 1
79 1
80 1
81 1
82 1
83 1
84 1
85 1
86 1
87 1
88 1
89 1
90 1
91 1
92 1
93 1
94 1
95 1
96 1
97 1
98 1
99 1
100 1
101 1
102 1
103 1
104 1
105 1
106 1
107 1
108 1
109 1
110 1
111 1
112 1
113 1
114 1
115 1
116 1
117 1
118 1
119 1
120 1
121 1
122 1
123 1
124 1
125 1
126 1
127 1
128 1
129 1
130 1
131 1
132 1
133 1
134 1
135 1
136 1
137 1
138 1
139 1
140 1
141 1
142 1
143 1
144 1
145 1
146 1
147 1
148 1
149 1
150 1
151 1
152 1
153 1
154 1
155 1
156 1
157 1
158 1
159 1
160 1
161 1
162 1
163 1
164 1
165 1
166 1
167 1
168 1
169 1
170 1
171 1
172 1
173 1
174 1
175 1
176 1
177 1
178 1
179 1
180 1
181 1
182 1
183 1
184 1
185 1
186 1
187 1
188 1
189 1
190 1
191 1
192 1
193 1
194 1
195 1
196 1
197 1
198 1
199 1
200 1
201 1
202 1
203 1
204 1
205 1
206 1
207 1
208 1
209 1
210 1
211 1
212 1
213 1
214 1
215 1
216 1
217 1
218 1
219 1
220 1
221 1
222 1
223 1
224 1
225 1
226 1
227 1
228 1
229 1
230 1
231 1
232 1
233 1
234 1
235 1
236 1
237 1
238 1
239 1
240 1
241 1
242 1
243 1
244 1
245 1
246 1
247 1
248 1
249 1
250 1
251 1
252 1
253 1
254 1
255 1
256 1
257 1
258 1
259 1
260 1
261 1
262 1
263 1
264 1
265 1
266 1
267 1
268 1
269 1
270 1
271 1
272 1
273 1
274 1
275 1
276 1
277 1
278 1
279 1
280 1
281 1
282 1
283 1
284 1
285 1
286 1
287 1
288 1
289 1
290 1
291 1
292 1
293 1
294 1
295 1
296 1
297 1
298 1
299 1
300 1
301 1
302 1
303 1
304 1
305 1
306 1
307 1
308 1
309 1
310 1
311 1
312 1
313 1
314 1
315 1
316 1
317 1
318 1
319 1
320 1
321 1
322 1
323 1
324 1
325 1
326 1
327 1
328 1
329 1
330 1
331 1
332 1
333 1
334 1
335 1
336 1
337 1
338 1
339 1
340 1
341 1
342 1
343 1
344 1
345 1
346 1
347 1
348 1
349 1
350 1
351 1
352 1
353 1
354 1
355 1
356 1
357 1
358 1
359 1
360 1
361 1
362 1
363 1
364 1
365 1
366 1
367 1
368 1
369 1
370 1
371 1
372 1
373 1
374 1
375 1
376 1
377 1
378 1
379 1
380 1
381 1
382 1
383 1
384 1
385 1
386 1
387 1
388 1
389 1
390 1
391 1
392 1
393 1
394 1
395 1
396 1
397 1
398 1
399 1
400 1
401 1
402 1
403 1
404 1
405 1
406 1
407 1
408 1
409 1
410 1
411 1
412 1
413 1
414 1
415 1
416 1
417 1
418 1
419 1
420 1
421 1
422 1
423 1
424 1
425 1
426 1
427 1
428 1
429 1
430 1
431 1
432 1
433 1
434 1
435 1
436 1
437 1
438 1
439 1
440 1
441 1
442 1
443 1
444 1
445 1
446 1
447 1
448 1
449 1
450 1
451 1
452 1
453 1
454 1
455 1
456 1
457 1
458 1
459 1
460 1
461 1
462 1
463 1
464 1
465 1
466 1
467 1
468 1
469 1
470 1
471 1
472 1
473 1
474 1
475 1
476 1
477 1
478 1
479 1
480 1
481 1
482 1
483 1
484 1
485 1
486 1
487 1
488 1
489 1
490 1
491 1
492 1
493 1
494 1
495 1
496 1
497 1
498 1
499 1
500 1
501 1
502 1
503 1
504 1
505 1
506 1
507 1
508 1
509 1
510 1
511 1
512 1
513 1
514 1
515 1
516 1
517 1
518 1
519 1
520 1
521 1
522 1
523 1
524 1
525 1
526 1
527 1
528 1
529 1
530 1
531 1
532 1
533 1
534 1
535 1
536 1
537 1
538 1
539 1
540 1
541 1
542 1
543 1
544 1
545 1
546 1
547 1
548 1
549 1
550 1
551 1
552 1
553 1
554 1
555 1
556 1
557 1
558 1
559 1
560 1
561 1
562 1
563 1
564 1
565 1
566 1
567 1
568 1
569 1
570 1
571 1
572 1
573 1
574 1
575 1
576 1
577 1
578 1
579 1
580 1
581 1
582 1
583 1
584 1
585 1
586 1
587 1
588 1
589 1
590 1
591 1
592 1
593 1
594 1
595 1
596 1
597 1
598 1
599 1
600 1
601 1
602 1
603 1
604 1
605 1
606 1
607 1
608 1
609 1
610 1
611 1
612 1
613 1
614 1
615 1
616 1
617 1
618 1
619 1
620 1
621 1
622 1
623 1
624 1
625 1
626 1
627 1
628 1
629 1
630 1
631 1
632 1
633 1
634 1
635 1
636 1
637 1
638 1
639 1
640 1
641 1
642 1
643 1
644 1
645 1
646 1
647 1
648 1
649 1
650 1
651 1
652 1
653 1
654 1
655 1
656 1
657 1
658 1
659 1
660 1
661 1
662 1
663 1
664 1
665 1
666 1
667 1
668 1
669 1
670 1
671 1
672 1
673 1
674 1
675 1
676 1
677 1
678 1
679 1
680 1
681 1
682 1
683 1
684 1
685 1
686 1
687 1
688 1
689 1
690 1
691 1
692 1
693 1
694 1
695 1
696 1
697 1
698 1
699 1
700 1
701 1
702 1
703 1
704 1
705 1
706 1
707 1
708 1
709 1
710 1
711 1
712 1
713 1
714 1
715 1
716 1
717 1
718 1
719 1
720 1
721 1
722 1
723 1
724 1
725 1
726 1
727 1
728 1
729 1
730 1
731 1
732 1
733 1
734 1
735 1
736 1
737 1
738 1
739 1
740 1
741 1
742 1
743 1
744 1
745 1
746 1
747 1
748 1
749 1
750 1
751 1
752 1
753 1
754 1
755 1
756 1
757 1
758 1
759 1
760 1
761 1
762 1
763 1
764 1
765 1
766 1
767 1
768 1
769 1
770 1
771 1
772 1
773 1
774 1
775 1
776 1
777 1
778 1
779 1
780 1
781 1
782 1
783 1
784 1
785 1
786 1
787 1
788 1
789 1
790 1
791 1
792 1
793 1
794 1
795 1
796 1
797 1
798 1
799 1
800 1
801 1
802 1
803 1
804 1
805 1
806 1
807 1
808 1
809 1
810 1
811 1
812 1
813 1
814 1
815 1
816 1
817 1
818 1
819 1
820 1
821 1
822 1
823 1
824 1
825 1
826 1
827 1
828 1
829 1
830 1
831 1
832 1
833 1
834 1
835 1
836 1
837 1
838 1
839 1
840 1
841 1
842 1
843 1
844 1
845 1
846 1
847 1
848 1
849 1
850 1
851 1
852 1
853 1
854 1
855 1
856 1
857 1
858 1
859 1
860 1
861 1
862 1
863 1
864 1
865 1
866 1
867 1
868 1
869 1
870 1
871 1
872 1
873 1
874 1
875 1
876 1
877 1
878 1
879 1
880 1
881 1
882 1
883 1
884 1
885 1
886 1
887 1
888 1
889 1
890 1
891 1
892 1
893 1
894 1
895 1
896 1
897 1
898 1
899 1
900 1
901 1
902 1
903 1
904 1
905 1
906 1
907 1
908 1
909 1
910 1
911 1
912 1
913 1
914 1
915 1
916 1
917 1
918 1
919 1
920 1
921 1
922 1
923 1
924 1
925 1
926 1
927 1
928 1
929 1
930 1
931 1
932 1
933 1
934 1
935 1
936 1
937 1
938 1
939 1
940 1
941 1
942 1
943 1
944 1
945 1
946 1
947 1
948 1
949 1
950 1
951 1
952 1
953 1
954 1
955 1
956 1
957 1
958 1
959 1
960 1
961 1
962 1
963 1
964 1
965 1
966 1
967 1
968 1
969 1
970 1
971 1
972 1
973 1
974 1
975 1
976 1
977 1
978 1
979 1
980 1
981 1
982 1
983 1
984 1
985 1
986 1
987 1
988 1
989 1
990 1
991 1
992 1
993 1
994 1
995 1
996 1
997 1
998 1
999 1
1000 1

```

いかがでしょうか。まるで実際に本を手にとっているような錯覚さえ覚えませんか?

このように、文献探索の際にはこれらのDBを利用して文献のリストを作り、GEMMAを使って当館の所蔵を確認すれば有益でしょう。

なお、検索にかかる料金は1分間で200円です。(「BOOK/MONTHLY」は入手可能な新刊書を検索するDBで90円/分と低料金なのでお勧めです。)検索はすべて図書館員が代行しますので、気軽に参考カウンターにお尋ねください。

(参考係・後藤眞貴子)

南山大学図書館カレンダー

1991. 1. ~ 1991. 3.

1 月					2 月					3 月				
9:00	3:30	6:30			9:00	3:30	6:30			9:00	3:30	6:30		
	0:30	4:30	G	文 書		0:30	4:30	G	文 書		0:30	4:30	G	文 書
1 (火)	冬季休館				1 (金)					1 (金)				
2 (水)					2 (土)				★	2 (土)				★
3 (木)					3 (日)					3 (日)				
4 (金)					4 (月)					4 (月)				
5 (土)					5 (火)				後期試験終了	5 (火)				
6 (日)					6 (水)				★	6 (水)				★
7 (月)					7 (木)					7 (木)				
8 (火)					8 (金)					8 (金)				
9 (水)				★	9 (土)	平成3年度 入学試験の ため休館				9 (土)				★
10 (木)					10 (日)					10 (日)				
11 (金)					11 (月)					11 (月)				
12 (土)				★	12 (火)					12 (火)				
13 (日)					13 (水)					13 (水)				★
14 (月)					14 (木)					14 (木)				
15 (火)	成人の日				15 (金)					15 (金)				
16 (水)				★	16 (土)				★	16 (土)				★
17 (木)					17 (日)					17 (日)				
18 (金)					18 (月)					18 (月)				
19 (土)				★	19 (火)					19 (火)				
20 (日)					20 (水)				★	20 (水)				★
21 (月)					21 (木)					21 (木)	卒業式			
22 (火)					22 (金)					22 (金)	振替休日			
23 (水)				★	23 (土)				★	23 (土)				★
24 (木)				←春季長期 貸出開始 (2月5日まで)	24 (日)					24 (日)				
25 (金)					25 (月)					25 (月)				
26 (土)				★	26 (火)					26 (火)				
27 (日)					27 (水)				★	27 (水)				★
28 (月)					28 (木)					28 (木)				
29 (火)										29 (金)				
30 (水)				★						30 (土)				★
31 (木)										31 (日)				

斜線：開館時間

G：GEMMA 講習会(初級) 文：文献調査講習会

書：3・4年次生書庫入庫日 (水曜 pm 1:00-4:30, 土曜 am 9:00-11:30,
4年次生は 1月末日まで。2月以降は3年次生のみ。)

《編集後記》

待望のタイトルチェンジをしました。ニュー
タイトルの選考過程は伝言板コーナーに譲りま
すが、気に入って頂ければ幸いです。併せて紙
面も若干変えてみました。こちらの方の反響も
期待しています。

(真野, 三谷, 紅露)

(タイトルデザイン：平松富美)

南山大学図書館報 デュナミス No.8

南山大学図書館 1991.1.7発行

〒466 名古屋市昭和区山里町18

Tel. 052 (832) 3707

Fax 052 (833) 6986